

**平成18年1月期
第1四半期
決算概況**

**株式会社 ACCESS
平成17年6月14日**



本資料についての注意点

- 本資料に含まれる業績目標等の将来数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであります。
- 将来数値には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来数値と異なる場合がありますので、この将来数値に全面的に依拠して投資等の判断を行なうことは差し控えてください。



本決算のポイント

- * **連結業績は、売上高2,962百万円、経常利益716百万円**
 - ・連結各子会社は、売上高、経常利益ベースで、予想を上回る結果となった。
 - ・単体は、製品、ロイヤリティーともに売上高が予想を上回り、セールス・ミックスの改善、販管費のコントロールにより、大幅な黒字化を達成。

- * **単体業績は、売上高2,402百万円、経常利益745百万円**
 - ・FOMA、受託開発が好調で、売上高は予想を上回った。
 - ・販管費は、前年同期比より増加したものの、コスト・コントロール等により、予想を大幅に下回った。

- * **単体の売上構成におけるロイヤリティー比率は、44%となり、前年通期を上回った。（前年通期41%）**

第1四半期（2月～4月）のハイライト

連結

(百万円)	実績	予想レンジ	前年同期	想 定	未 確 定 要 素	コ メ ン ト
売上高	2,962	2,520 ~ 2,620	2,736	・ASE:欧州での国際i-modeの売上寄与は、前期並みに想定。	・欧州での国際i-modeの普及度合、他の携帯メーカーの普及度合。	・連結各子会社は、売上高、経常利益ベースで、予想を上回る結果となった。
営業利益	679	300 ~ 380	551	・ASC:チャイナ・ユニコム案件の売上寄与は、前期並みに想定。		
経常利益	716	300 ~ 380	569	・AP:デジタルコンテンツ売上は、前期より若干増と想定。	・中国でのMMSサービスの普及度合	
当期純利益	448	150 ~ 195	313		・デジタルコンテンツの売上寄与の時期	

単 体

(百万円)	実績	予想レンジ	前年同期	想 定	未 確 定 要 素	コ メ ン ト
売上高	2,402	2,000 ~ 2,140	2,077	・売上構成比(通期予想) 製品:ロイヤリティー = 59:41	・3G端末を中心とした携帯電話の新機種による当社ロイヤリティー収入への影響	製品、ロイヤリティーともに売上高が予想を上回り、セールスマックスの改善、販管費のコントロールにより、大幅な黒字化を達成。
営業利益	712	450 ~ 520	442	・製品粗利率(通期予想) 42 ~ 46%		
経常利益	745	450 ~ 520	463	・売上高販管費比率(通期予想) 34%	・新規顧客獲得による製品粗利益率の低下	
当期純利益	430	270 ~ 310	237			・売上構成比(1Q実績) 製品:ロイヤリティー = 56:44 ・製品粗利率(1Q実績) 45% ・売上高販管費比率(1Q実績) 39%



連結決算ハイライト

連結対象会社：連結子会社13社

(百万円)	第1四半期 (当期)	第1四半期 (前年同期)	前年同期比	前年通期	前年通期比
売上高	2,962	2,736	8.3%	11,347	26.1%
売上総利益	1,871	1,560	19.9%	6,623	28.3%
販管費	1,192	1,008	18.2%	4,351	27.4%
営業損益	679	551	23.1%	2,272	29.9%
営業外損益	37	17	-	14	-
経常損益	716	569	25.8%	2,258	31.7%
特別損益	0	14	-	101	-
法人税等	291	241	-	815	-
当期純損益	448	313	43.1%	1,567	28.6%

連結各子会社の業績（第1四半期：2月-4月）

ASE：アクセス・システムズ・ヨーロッパ・ゲー・エム・ペー・ハー

ASC：アクセス・チャイナ・インク

AH：株式会社ACCESS北海道

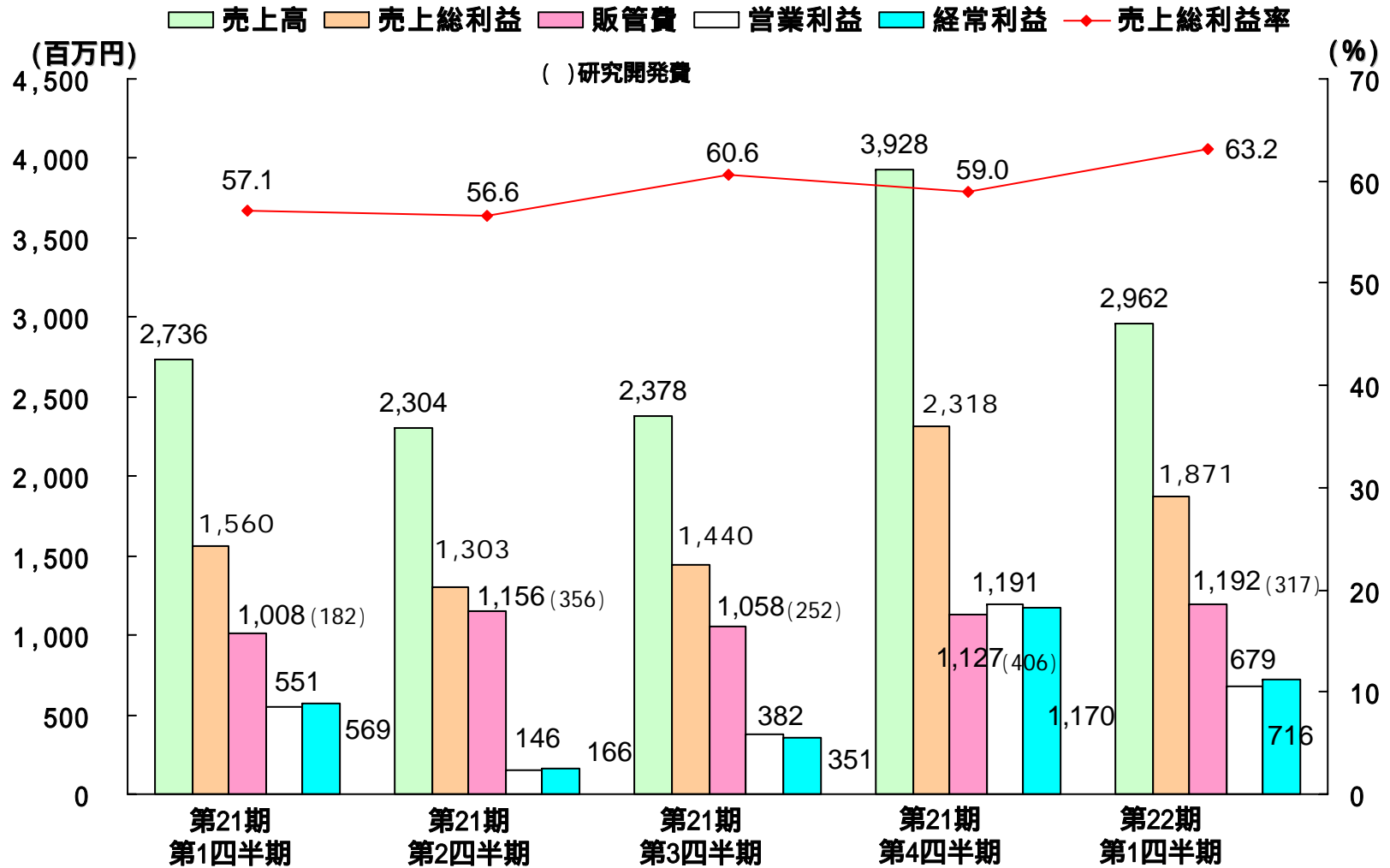
AP：株式会社アクセス・パブリッシング

CV：シーバレー・インク

RZ：レッドゼロ・インク

（百万円）	ACCESS	ASE	ASC	AH	AP	CV	RZ	修正	連結合計
売上高	2,402	297	93	26	251	2	-	112	2,962
売上総利益	1,651	217	49	9	70	2	-	128	1,871
販管費	939	190	34	2	94	36	33	138	1,192
営業損益	712	27	15	6	24	34	33	10	679
営業外損益	33	13	1	0	0	0	2	12	37
経常損益	745	40	16	6	24	34	31	2	716
特別損益	24	-	-	-	-	-	-	24	0
法人税等	290	0	-	0	0	0	-	0	291
当期純損益	430	39	16	6	24	34	31	45	448

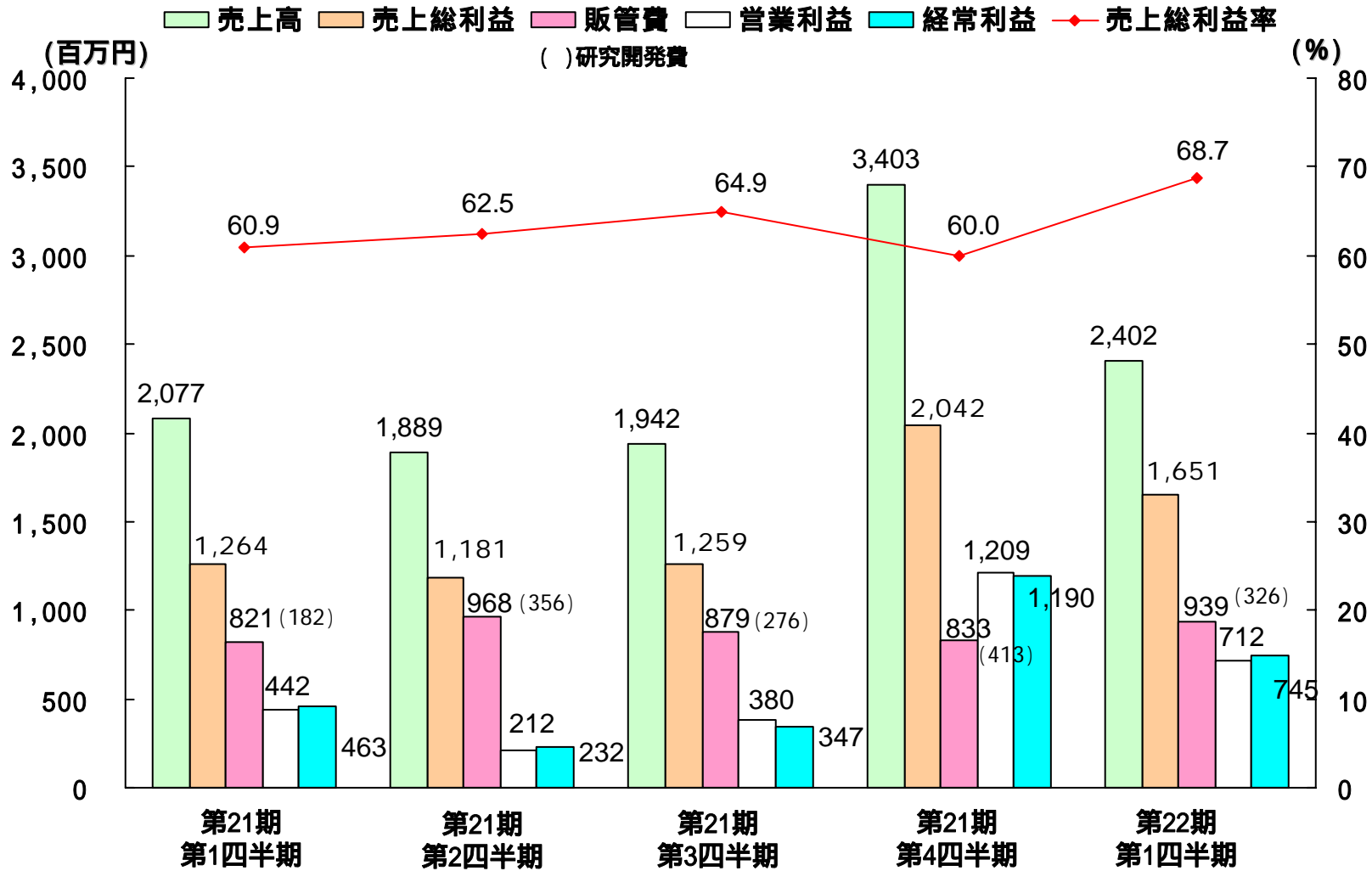
四半期毎の売上高等の推移（連結）



単体決算ハイライト

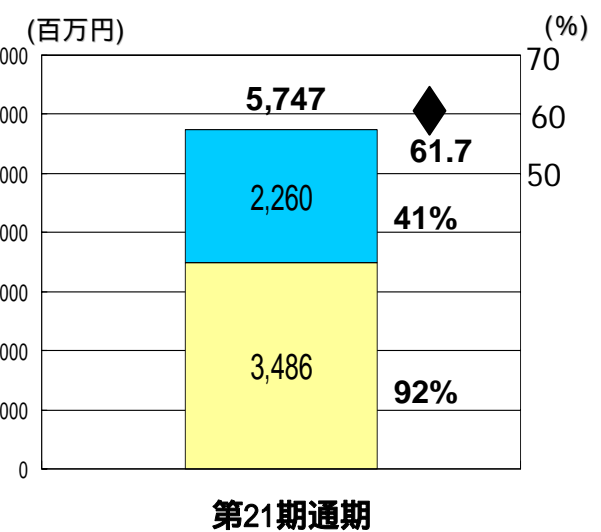
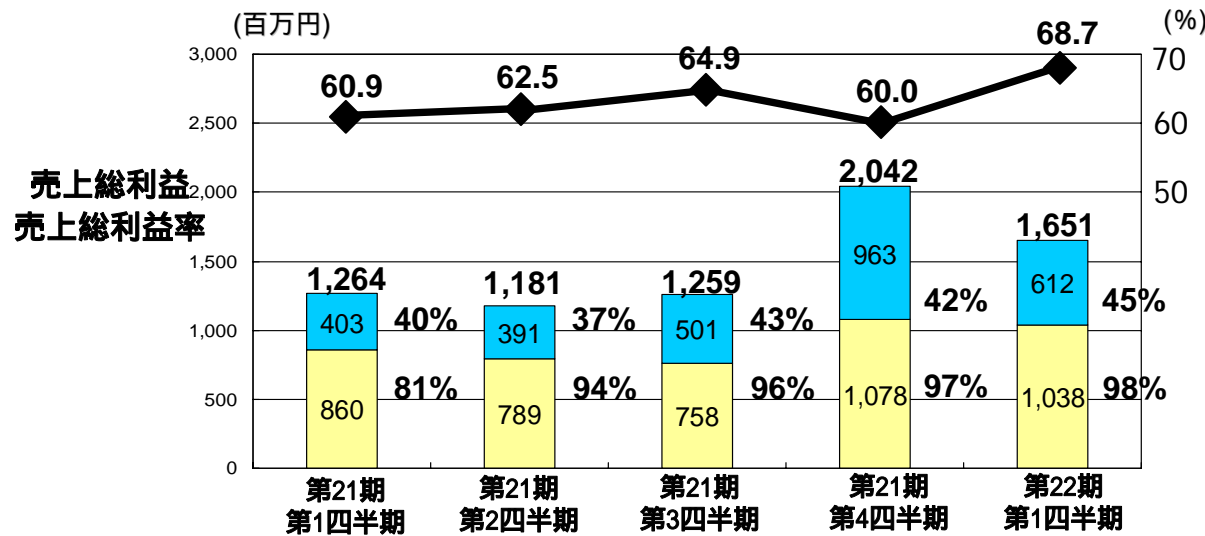
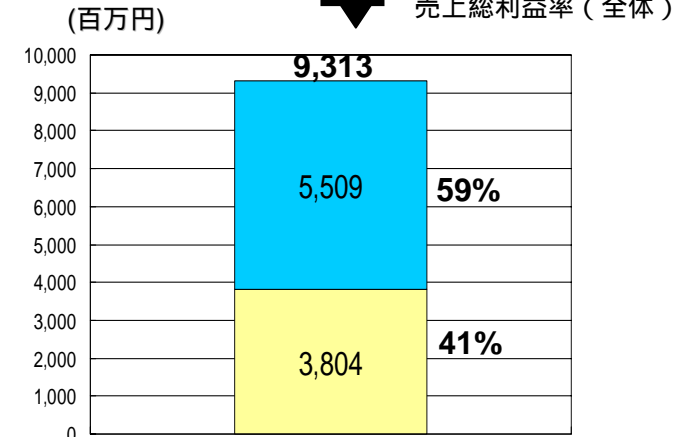
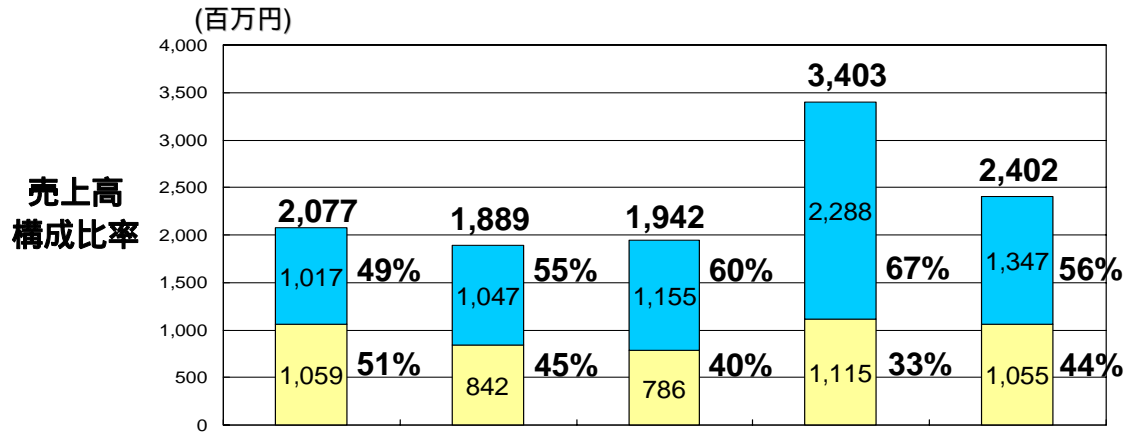
(百万円)	第1四半期 (当期)	第1四半期 (前年同期)	前年同期比	前年通期	前年通期比
売上高	2,402	2,077	15.7%	9,313	25.8%
売上総利益	1,651	1,264	30.6%	5,747	28.7%
売上総利益率	68.7%	60.9%	-	61.7%	-
販管費	939	821	14.3%	3,502	26.8%
営業損益	712	442	60.9%	2,244	31.7%
営業外損益	33	21	-	10	-
経常損益	745	463	60.7%	2,234	33.4%
特別損益	24	0	-	124	-
法人税等	290	227	-	838	-
当期純損益	430	237	81.5%	1,271	33.9%

四半期毎の売上高等の推移（単体）



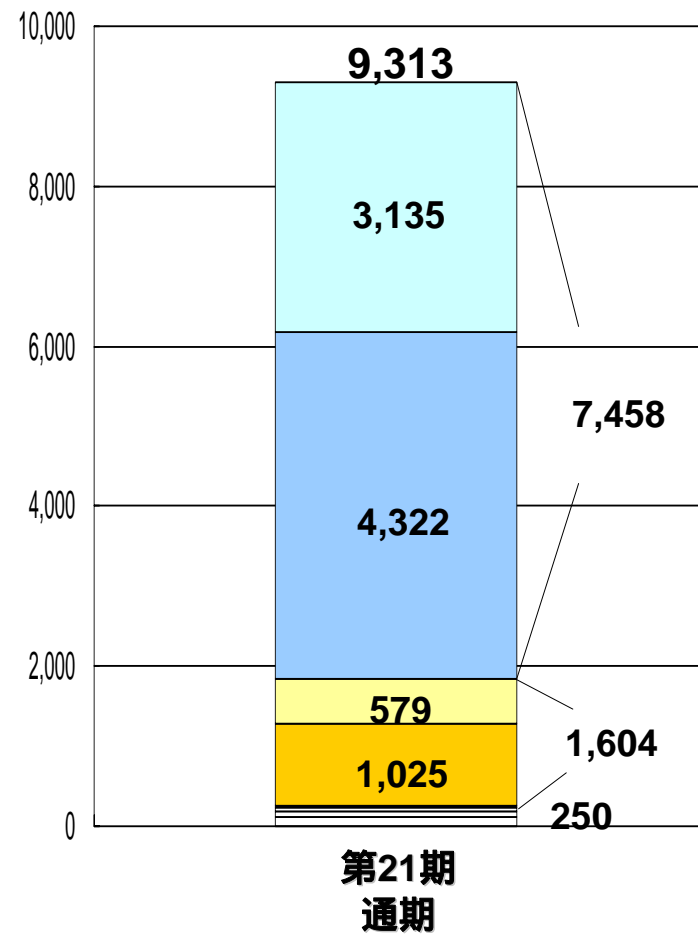
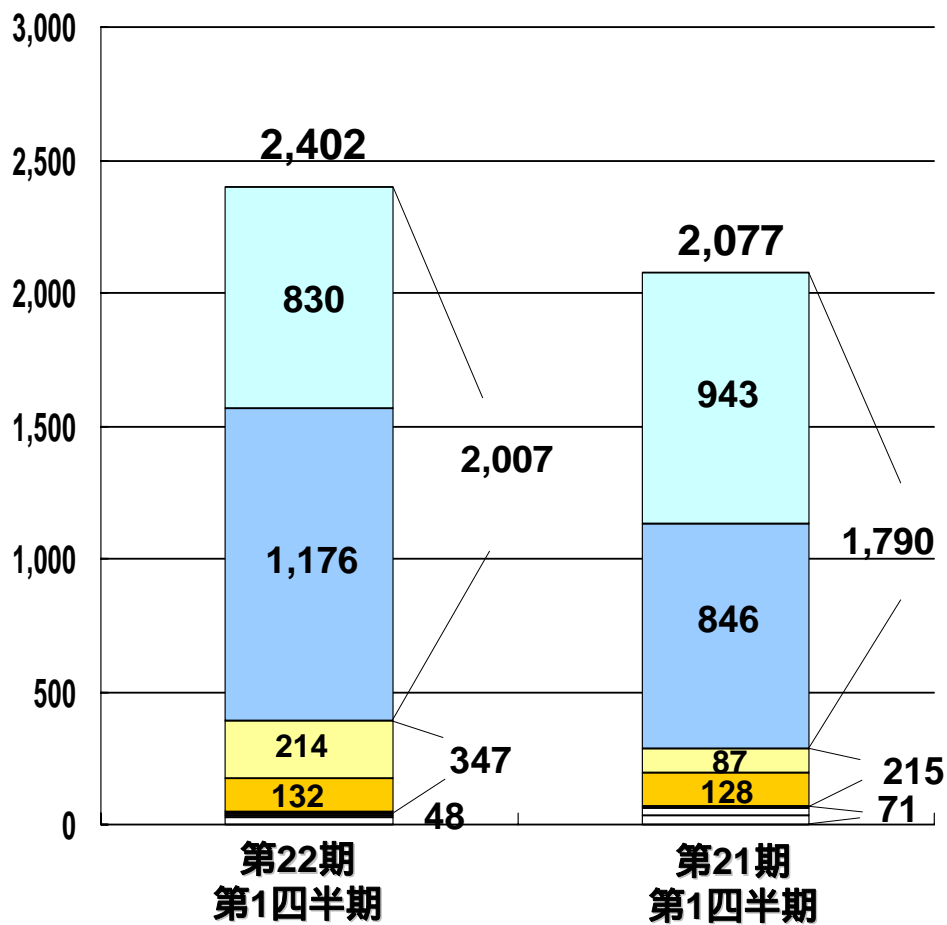
売上高・売上総利益の推移（単体）

- 製品売上
- ロイヤリティー
- ◆ 売上総利益率（全体）

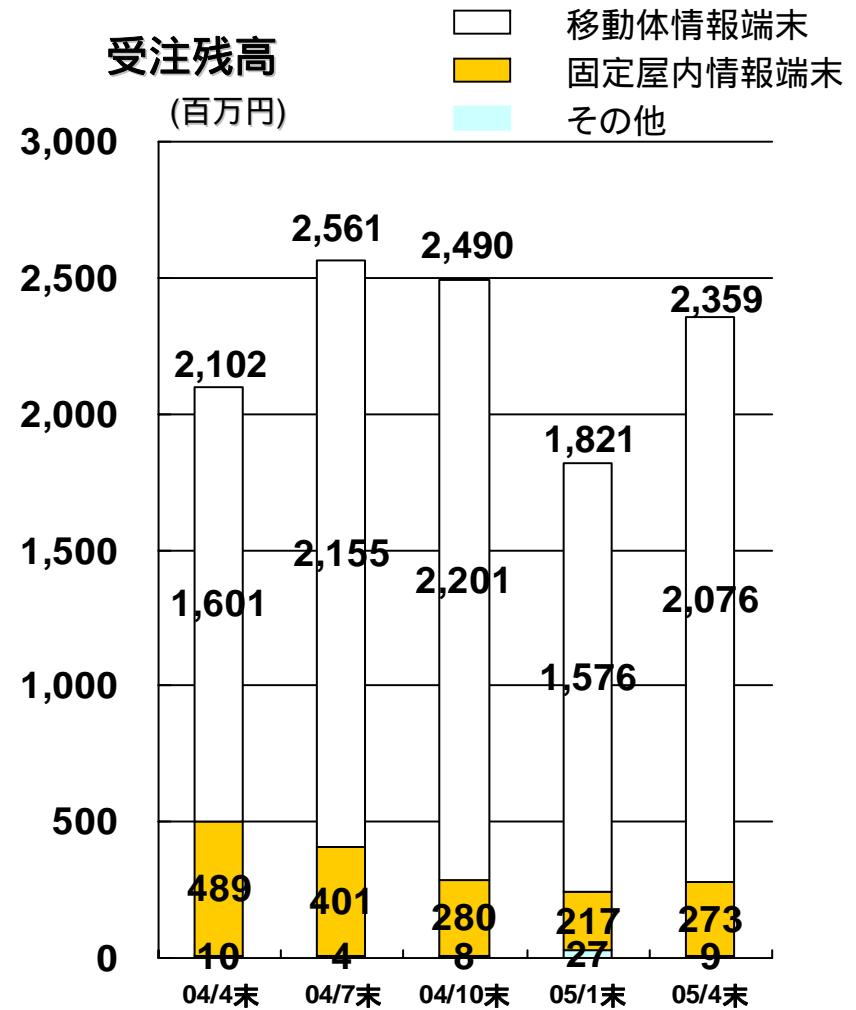
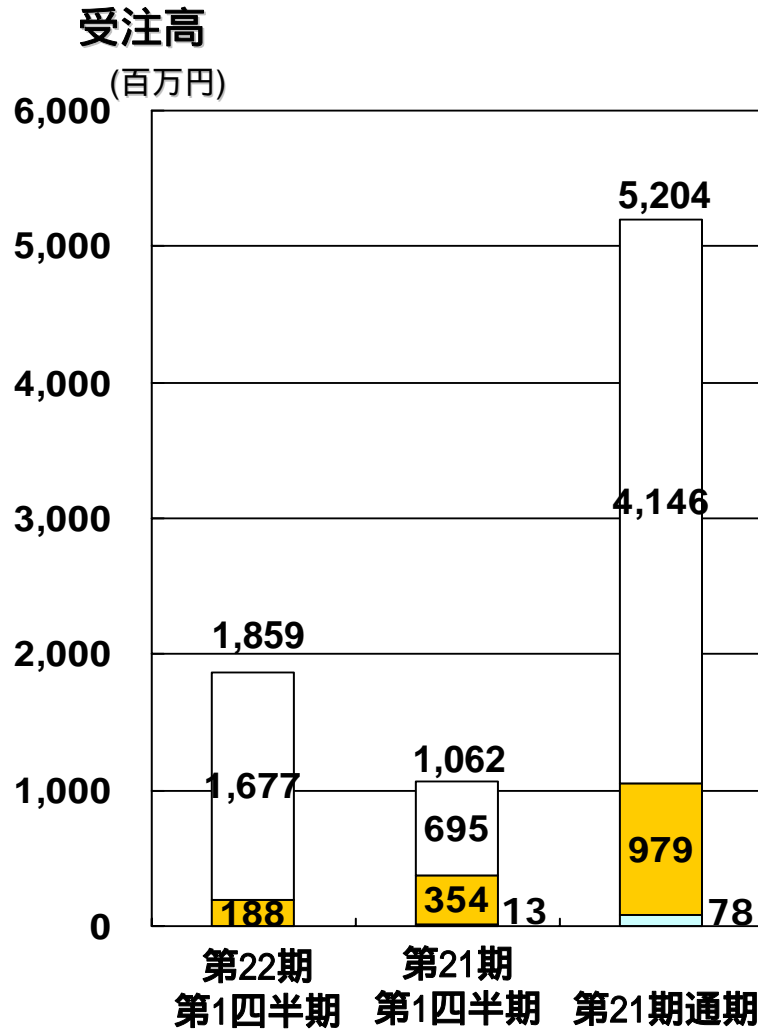


各売上高の内訳（単体）

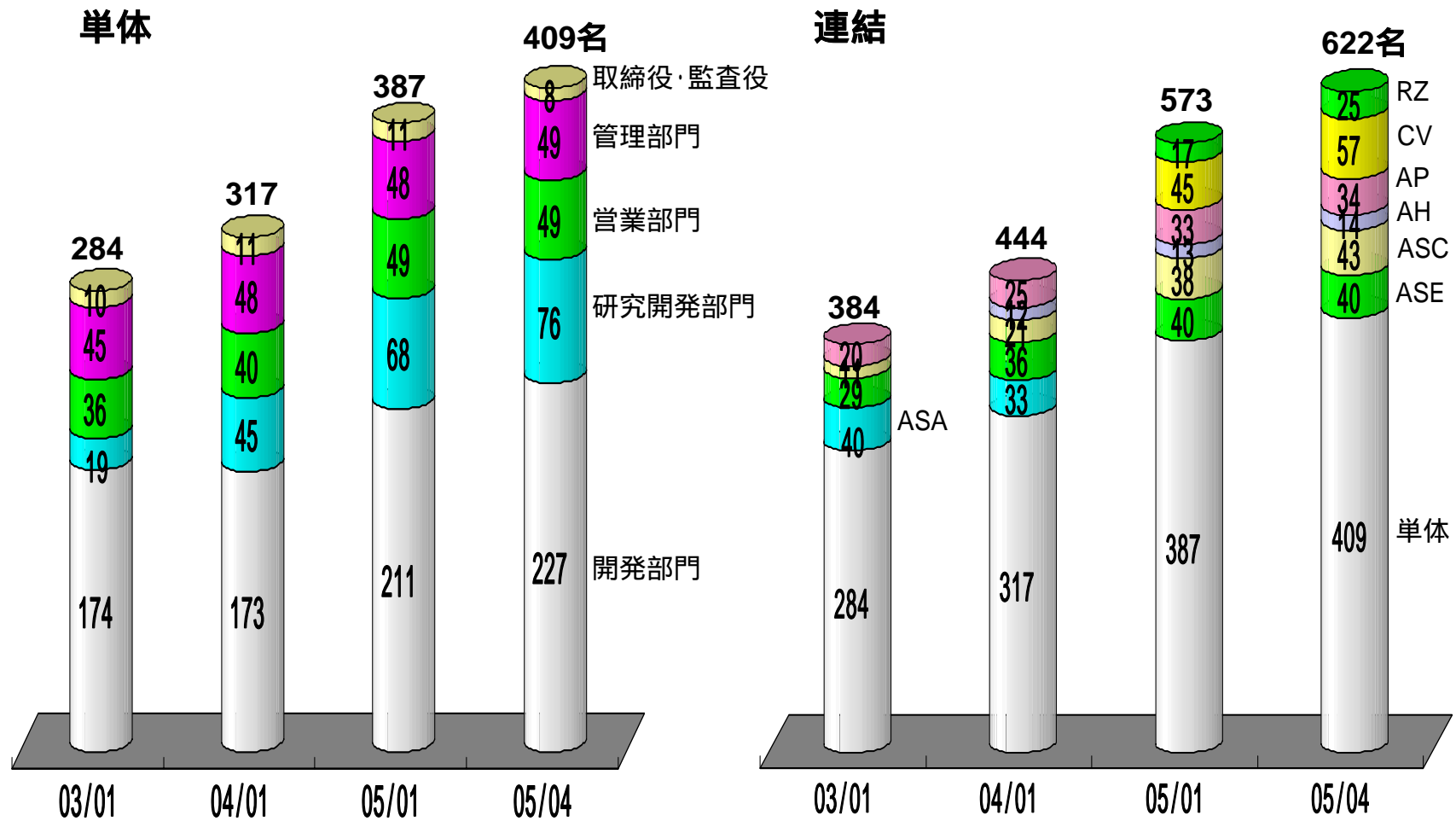
移動体情報端末(ロイヤリティー)
 移動体情報端末(製品)
 固定屋内情報端末(ロイヤリティー)
 固定屋内情報端末(製品)
 (百万円)
 基盤開発・受託開発・その他(ロイヤリティー+製品) (百万円)



受託開発の受注状況（単体）



従業員の推移（単体・連結）



連結貸借対照表（要約）

（百万円）	第22期第1四半期末	第21期第1四半期末	第21期期末
・ 流動資産			
現金・預金	7,890	5,864	7,460
売上債権	3,040	2,095	3,100
たな卸資産	759	912	691
その他	594	297	549
・ 固定資産			
有形固定資産	747	701	729
無形固定資産	570	577	602
投資その他の資産	473	810	467
合 計	14,077	11,259	13,601
・ 流動負債	1,916	1,794	1,984
・ 固定負債	111	77	110
少数株主持分	145	2	168
・ 自己資本	11,903	9,384	11,337
合 計	14,077	11,259	13,601

単体貸借対照表（要約）

（百万円）	第22期第1四半期末	第21期第1四半期末	第21期期末
・ 流動資産			
現金・預金	6,995	5,227	6,494
売上債権	2,800	1,726	2,855
たな卸資産	711	846	577
その他	510	342	468
・ 固定資産			
有形固定資産	640	651	625
無形固定資産	413	441	433
投資その他の資産	1,511	1,746	1,505
合 計	13,584	10,983	12,960
・ 流動負債	1,291	1,176	1,240
・ 固定負債	275	77	250
・ 自己資本	12,017	9,730	11,469
合 計	13,584	10,983	12,960

連結キャッシュ・フローの状況(要約)

(百万円)	第22期 第1四半期	第21期 第1四半期	第21期 通期
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	460	550	1,489
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	57	331	38
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	117	207	1,067
IV. 現金及び現金同等物 増加	530	419	2,516
V. 現金及び現金同等物 期首残高	6,621	4,105	4,105
VI. 現金及び現金同等物 期末残高	7,152	4,525	6,621

税金等調整前 当期純利益: 717百万円 仕入債務の減少: 200百万円	有形・無形固定資産 の取得: 166百万円	株式発行による収入: 864百万円
税引前当期純利益: 555百万円	税金等調整前 当期純利益: 2,359百万円 売上債権の増加: 726百万円	

第2四半期(5月～7月)のガイドライン

連結

(百万円)	レンジ		想 定	未 確 定 要 素
	当四半期	(前年同期)		
売上高	2,900 ~ 3,100	(2,304)	・ASE : 欧州での国際i-modeの売上寄与は、前期並みに想定。	・欧州での国際i-modeの普及度合、他の携帯メーカーの普及度合。
営業利益	450 ~ 550	(146)	・ASC : チャイナ・ユニコム案件の売上寄与は、前期並みに想定。	・中国でのMMSサービスの普及度合
経常利益	450 ~ 550	(166)	・AP : デジタルコンテンツ売上は、前期より若干増と想定。	・デジタルコンテンツの売上寄与の時期
当期純利益	250 ~ 330	(129)		

単 体

(百万円)	レンジ		想 定	未 確 定 要 素
	当四半期	(前年同期)		
売上高	2,300 ~ 2,500	(1,889)	・売上構成比(通期予想) 製品:ロイヤリティー=59:41	・3G端末を中心とした携帯電話の新機種による当社ロイヤリティー収入への影響
営業利益	450 ~ 550	(212)	・製品粗利率(通期予想) 42～46%	・新規顧客獲得による製品粗利益率の低下
経常利益	450 ~ 550	(232)	・売上高販管費比率(通期予想) 34%	
当期純利益	250 ~ 330	(256)		